プロジェクトマネジメントにおける ソフトウェアプロセスの改善

~ 新任プロジェクトマネージャがプロジェクトを成功に導くことができたその取り組み~



JFEシステムズ株式会社

黒澤マキ m-kurosawa@jfe-systems.com

目次

- 1. なぜ約束なのか
- 2.約束を履行するには
 - 2-1.実現可能な約束を結ぶ
 - 2-2.約束を守る
 - 2-3.外部環境の変化に対応する
- 3.まとめ

1. なぜ約束なのか

ソフトウェアプロジェクトの成功確率 は?

26.7% · · · !!

(日経コンピュータ 2003年11月17日

号

なぜ失敗するのか?

- スケジュールどおりに進まない
 - 見積もりが甘い
 - 要件がすぐに変わる

_ . . .

約束したことが果たされない

約束とは

『困難に直面したときに行動を支える 方法である』。 したがって約束は、大規模な仕事の 根本である。担当者が各人の努力を 整合させる時、相互間の約束は 不可欠である。

> Watts S.Humphrey『ソフトウェアプロセス成熟度の改善』 (藤野喜一監訳、日本電気ソフトウェアプロセス研究会訳、 日科技連出版社、1991)

大きな約束の履行のためには (プロジェクトの成功)

小さな約束の履行の積み重ねが重要!

2.約束を履行するには

プロジェクトがひとつの組織として機能するためには、

- 目的
- 貢献意欲
- コミュニケーション

<実現する仕組み>

約束の履行

組織としての貢献意欲の醸成

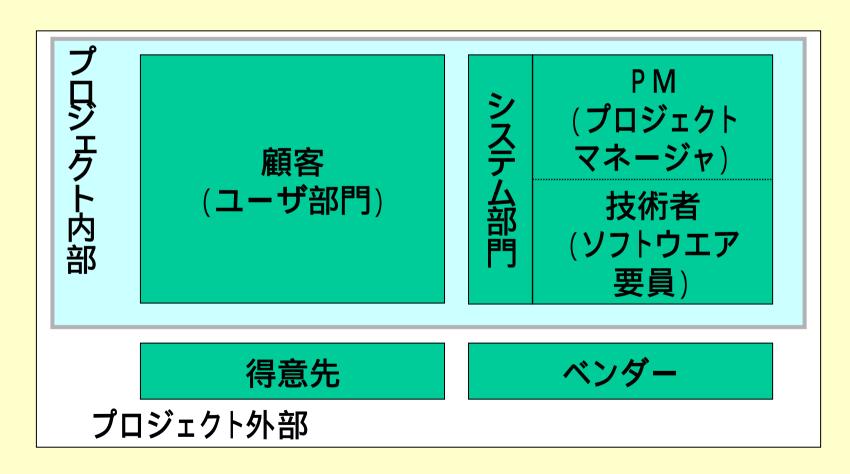
コミュニケーションの価値伝達

が不可欠である。

バーナードの協働体系論より

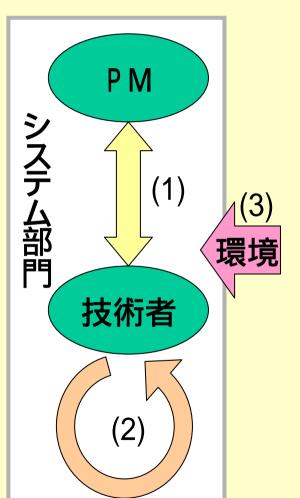
約束は誰のもの?

ソフトウェアプロジェクトを構成する主要メンバー



どのような約束があるか

-約束と履行における問題点-



(1)専門家間の約束 技術の専門家(技術者)と プロジェクト管理の専門家(PM)

実現不可能な 約束

(2)自分自身に対する 約束 約束が 守れない

(3)外部環境の変化 当初想定外の事象が発生 変化に 対応できない

2-1.実現可能な約束を結ぶ

PMと技術者間でコミュニケーションを密にとる

約束の実現可能性を判断する

約束へのコミットメントをとる

プロジェクト 計画書

への合意

2-2.約束を守る

プロジェクトを超えた組織内でのコミュニケーションをとる

約束を守ることの価値を理解する

約束を守らないことの不利益を理解する

CDP

Career Development Program

に基づく

長期的視点での教育・育成

2-3.外部環境の変化に対応する

リスクへの対策として

前提条件を含めた約束を結ぶ (特に対顧客)

前提条件の

契約書

への記載

また、契約書に記載するレベル未満のリスクに対しては、バッファーの準備という方法をとる。

3.まとめ

〉約束の価値

> 体系的実践

【参考文献】

Watts S.Humphrey『ソフトウェアプロセス成熟度の改善』 (藤野喜一監訳、 日本電気ソフトウェアプロセス研究会訳、 日科技連出版社、1991)

Chester I. Barnard 『経営者の役割』(山本安次郎、田杉競、飯野春樹訳、ダイヤモンド社、1968)

PMI PMBOK ガイド(日本語版)』 (PMI東京(日本)支部、 PMBOK2000翻訳プロジェクト・チーム)